

2023 年度第1回 四国支部視察研修会 実施報告書

2023 年度四国支部調査研究事業の一環として、「ケーブル技術ショー2023 他視察研修会」を実施した。

1. 視 察 先 : ①ケーブル技術ショー2023(東京国際フォーラム)
②ANA Blue Hangar Tour (羽田新整備場)
2. 研修期間 : 2023 年 7 月 20 日～21 日(2 日間)
3. 参 加 者 : 10 名(5 社)+2 名(事務局)

① 7/20(木) 13:30～16:00 ケーブル技術ショー2023 視察

今年のケーブル技術ショーは「Let's start with Cable DX! ～地域共創・地域 DX、持続可能な未来をつくるケーブル技術の実行力～」をコンセプトに開催され、出展社数は昨年度の 74 社を大きく上回る 92 社であった。

3つの主要 ZONE で構成され、「トータルソリューション ZONE」では CATV プラットホームやローカル 5G、「テクノロジーZONE」ではヘッドエンドや伝送系機器、ソフトや番組制作系、「地域 DX ZONE」では地域 DX 関連技術やソリューション・コンテンツ等の展示があり、豊かな社会づくりの実現に向けた様々な取り組みを学ぶことができた。

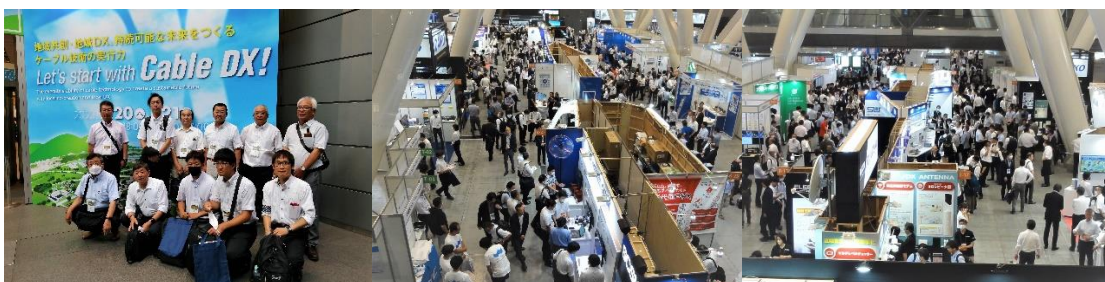
また、今年は分野や業界の垣根を越え、新たにケーブルテレビサービスへのビジネス展開を図る事業者が出展する「トライアル ZONE」が新設された。

各社ブース係員の丁寧な説明により、各社の特徴やアピールポイントを知ることができ、情報・知識を深める良い機会となった。またリアル展示会後に開催されていた Web 上で展示会視察ができる「VR 展示会」は、今回から「メタバースイベント」に生まれ変わり、本展示会への興味関心を醸成し技術展示会への来場動機にもつなげるため、技術展示会に先立つ 6 月 28 日から 8 月 31 日まで開催されており、リアル会場ではじっくりと見るができなかった展示も自分のペースでしっかりと見ることができ、より一層理解を深めることができた。

<参加者の感想>

- ・コロナの影響がなくなり、昨年よりも入場者がかなり多くなっていると感じた。
- ・ローカル 5G の活用が広がっていることを実感した。
- ・ケーブルテレビでハイブリッドキャストを利用した双方向サービスの展示が増えていたと感じた。
- ・今後、仕事のネタに繋げるには通信との融合が不可欠かつ重要であると感じた。
- ・マズプロ電工と日本アンテナのブースで、光受信機 (V-ONU) のリモートでのモニター機能の紹介が印象に残っている。まだ市場に出ていないとのことだが、離島などでのモニタリング等で利用できれば、非常に有意義なシステムになると思った。

- ・ 久々の見学であったが、時代の変化を大きく感じた。リアルに来場することで、最新の技術や製品、業界の動向などを直接肌で感じることができた。
- ・ VR 機器での安全シミュレーションを体験し、VR 映像の鮮明さ、距離感等のリアルさに驚いた。実際に色々な会社での新人教育等でも取り入れられているとの事で、これからますます発展していく技術だと感じた。
- ・ 昨年に比べてとても入場者が多かった。メーカーの開発状況がわかりとてもよかった。特に、IP による地上波や BS の再放規格がケーブルラボで出来上がっており、ケーブルテレビ徳島が主査を勤めて策定したことが結実し素晴らしいと思った。早速その仕様で実演されていたのを見ることもできて、大変良かった。
- ・ 工事業者側からみると、仕事に直結しそうな内容のものは見当たらなかった。
- ・ 人出も多く活気があるように感じた。ただ、拡販に繋がるような目ぼしい製品等は認められなかった。
- ・ 展示ブースでは、平素からお世話になっている取引先との交流や挨拶も出来、有意義であった。また、最新技術の AI や VR 等を取り入れた安全訓練やインフラ利活用で、地域の DX をいかにして実現するかといった取り組みを行っている企業が多く見られたり、CATV の独自チャンネルの全国配信サービス等を推進している企業もあり、IT 技術を駆使し、組織のあり方や枠組みを新しく作り直し変革していこうとする流れが来ていることが印象に残った。
- ・ 昔のケーブル技術ショーはテレビを見る為とか伝送方法をどうするとかがメインであったが、最近はクラウドを使ってとか端末機のアプリ使用とか内容が大分変わってきたと思った。
- ・ 関電工のブース運営、大型モニターを数台使用したプレゼン方法が参考になった。
- ・ 防災、減災に関する展示が多かったと感じた。



参加者

会場内の様子 1

会場内の様子 2



マスプロアンテナブース

DX アンテナブース

日本アンテナブース

② 7/21(金)9:30～11:00 ANA Blue Hangar Tour 視察

我々の業界と全く違う異業種の会社へ接し、業務への取り組み方、安全に対する考え方、顧客への接し方等々、我々の業務において参考にするべき所や共感するものを直接肌で感じ刺激を受けることで、今後の業務遂行へのフィードバックやモチベーションの向上に繋がることを期待して視察を行った。

<参加者の感想>

- ・とにかく見る物全てが規格外の大きさと、そのスケールに圧倒された。
- ・実際に間近で見ると飛行機の大きさは想定外であった。
- ・こんな巨大な飛行機が安全にフライトできるようにメンテナンスしている人のスキルと使命感を感じることができ、我々の作業においても見習うべきだと感じた。
- ・普段、接する機会のない航空分野の視察で、大変興味深かった。
- ・航空機体の様々な構造やエンジン、タイヤなど、詳細に案内係の方から分かりやすい説明があり有意義な視察であった。
- ・全てにおいて圧巻だった。案内役の方の情報量、説明方法には感心した。また、我々のグループに合わせて案内役を割当てたと思われ、グループ分けも含め、配慮ある会社だと感じた。いくつになっても、全く知らない世界の事を体感することは良い刺激になった。
- ・見学受付からプレゼン担当者、整備場内の案内役に至るまで、全てのスタッフにプロ意識を感じ、会社の顔であることを十分自覚した上で見学者に接していることに感動した。



以上